



## 6月の青空の下、庭に

### アジサイの花が咲いています



#### 豊川にてパート13

豊川インターから高速で浜松を過ぎ袋井インターで降りて、山の中に入ること約一時間のドライブですが、ヤマハが経営する葛城カントリークラブのゴルフ場に着きます。そこにホテル「北の丸」があり、そののレストランに洋子さんを誘いました。私は以前葛城カントリークラブでゴルフをした事がありましたが、ホテルのレストランは初めてです。午前11時に豊川インターのヤマサのお店で駐車場待ち合わせました。彼女はバスでそこまで来てくれました。子供さんは保育園に行っているのですが4時にはお迎えです。北の丸のレストランは高級なレストランで、現在の昼食の価格が

6,000円から11,000円ですが、当時はたしか4,500円くらいだったと思います。もちろん一人前です。窓からは青々とした芝生のゴルフ場が見渡せ眺望は最高です。「わあ綺麗」と洋子さんは驚きの声を発して「私こんなところ初めて、緊張するわ」私はにやにやして「リラックス、リラックス」と言っています。ボーイさんに昼食のパンかご飯かを注文していました。料理が来ました。フランス料理です。ナイフ、フォークの使い方が「私わからない」と洋子さんが小声で聞いてきたので、「端から使ってきたのいいよ、もしなんならお箸を頼もうか」「いえ、挑戦するわ」。このようにデートすることになったのは前日の晚いつもの通りカウ

ンターに座り、水割りを飲んでみると「カゴさん私のことどう思っているの?」「そりゃ好きだよ、前からそうおもっていたよ」「そう、では昼間ドライブに誘って」「OK明日行こう」となり、葛城カントリークラブまで来ました。季節は5月私の好きな季節、青葉が文字通り青々としてとても綺麗です。一人前4,500円のフランス料理が来ました。順番に5品ほど来ました。洋子さんはフォークとナイフを使いづらそうにしながらもなんとかこなしていました。「美味しい」と言いながら料理を口に運んでいましたが、実際は食べた気がしなかったかもしれませぬ。僅かに肉が出た時は嬉しそうに食べていたのでそこは満足したようです。

素敵なフランス料理を食べ、食後のコーヒーが来てそれを飲みながら「お店はどう?」「どうって?」「うん、働きやすい?」「そうね、ママもいい人だし、仲間も意地悪な人もいないしいんじやない」「お客は?」「酔うとひっこい人もいるけどママが厳しいので、あまりひどい人はいないわ。皆んなカゴさんみたいな人ばかりならいいんだけど、そうはいかないわ」「上手いこと言うね」「ほんとだもの」そんなたわいのない話をして時間を過ごし「そろそろ行くか」とそこを後にしました。くる道すがらラブホテルがあるのを見て知っていましたので思い切ってそこに誘おうと車を発進させました。山の中帰り道ラブホテルが2軒ほどあり、そのなかの一軒に車を乗り入れました。「あらこんなところに入るの?」「少し休んでいこうか」さつきから休んでいるのに、誘い言葉です。「私覚悟はできているの、でも約束し

てくれる」「何を」「これは、浮気だ」と「うん!わかった」と私は言いながら、なんだ私が遊ばれるのだ、最近の若い娘は割り切りがいいんだ、向こうから遊びで終わらせてと言ってくるのに少し興奮めしましたが、棚からぼたもち、食べないわけには行きませぬ。そのまま部屋に入りました。その後のことはよく覚えていません。成熟した男女する事はしたのではないのでしょうか、私にとって結婚して初めての浮気でした。彼女を家の近くまで送って私は何となく無力感に陥りその日は仕事が終わらないうつらな日でした。これでもいいのか、かを裏切ってしまった自分に少し嫌気がさしていました。結局、自分の行動に対する罪悪感が心に重くのしかかかってきました。かをに対する裏切りの思いが次第に膨らみ、内なる葛藤が

一層激しくなりました。なぜあのような瞬間に誘惑に負けてしまったのか、自分自身を責める気持ちがいりませんでした。

数日間、その思いから逃れることができず、心の中に暗い影を落としていました。かをの笑顔、共に過ごした時間、全てが頭の中で巡り、胸が締め付けられるような感覚に耐えきれないほどでした。自分の行動がどれほど深く彼女を傷つけるかを考えると、後悔の念がより一層強まりました。

浮気をしたことで得た一時的な快楽は、長期的には計り知れないほどの苦しみをもたらしました。かをとの関係修復するためには、真摯に反省し、彼女に対して誠実に向き合う必要があると痛感しました。そして、二度と同じ過ちを繰り返さないことを固く心に誓いました。しかし、かをには話す事はできません。かをを病床にて私を一人にさせて申し訳ないといつも言っています。自分を責めているのです、そんなかをに浮気をしましたなど口が裂けても言え

ません。心の中で反省の弁を叫ぶだけです。

この経験を通じて学んだことは、自分の行動が周囲に及ぼす影響を常に考え、誠実な態度で生きることの重要性です。信頼を築くには時間がかかりますが、失うのは一瞬です。そのことを肝に銘じ、これからの人生を歩んでいこうと決意しました。

数日が過ぎました。洋子さんのお店にはその後行きづらくなって行っていないです。どんな顔で洋子さんと接すればいいか、他のホステスさんに気づかれはしないかとか考えるとどうしても足が向きません。1週間が過ぎました。私は夜は別のお店で飲んでいます。このまま行かずに過ごそうかと考えてもいましたが、やはり気になります。彼女は元気にお店に出ているのか、それとも休んでいるのか、気になります。反省は猿でもすると言言葉があります。私のそれはそれかもしれませんが、さてこの後は再び洋子さんに会いに行くのでしょうか。

うか。それとも……次回で。

籠谷 弘



**歌声喫茶 6月・7月の予定**  
「西院」(第2、4木曜日)  
6月12日、26日  
7月10日、24日  
**楽々亭第54回 6月の予定**  
6月17日(火)  
西京区役所洛西支所第三会議室  
午後1時30分～3時30分

**ともしび通信**  
発行元：NPO 法人没イチの会・京都  
住所：京都市西京区大枝北沓掛町一丁目5番地2-406  
TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328  
MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。